

広報

さよう 1

vol.244
令和8年(2026)

人と地域 行政をつなぐ まちの総合情報誌

Sayo Town Public Relations

—笑顔が結ぶ、良き春を—

笑結新春

年末恒例のしめ縄づくり [石井地域づくり協議会]



close up クローズアップ

Monthly Pick up
今月の注目

1

悠久を紡ぐ
ゆうきゆう

浦安の舞

佐用都比売神社で毎年10月30日に行われる佐用姫祭り。この神事で奉納される「浦安の舞」は、50年以上にわたり、受け継がれてきた伝統の舞です。

舞を務めるのは氏子の中学生。夏の終わりから練習を始め、所作や歩み、扇の扱い方など、一つひとつ寧に積み重ねます。驚くことに舞を教わる先生はおらず、先輩から後輩へと伝えることで、伝統が受け継がれてきました。

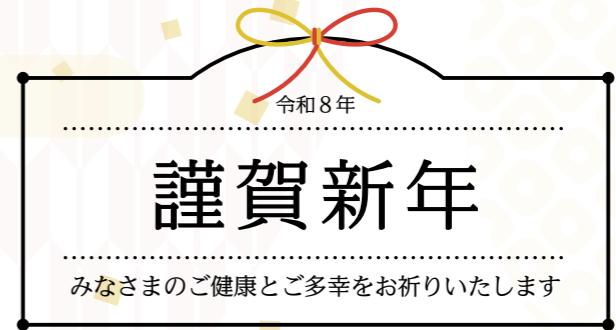
初めは緊張で動きが硬くても、回を重ねるほどに、背筋が伸び、指先にまで祈りが宿つていきます。

浦安の舞への
それぞれの想いとは

次のページ

祭り当日、静寂に包まれた神前に立つ舞姫たち。白い装束をまとい、澄んだ視線を前へ向けた瞬間、地域の祈りと誇りがその小さな身体に満ちていきます。その所作は観る者の心を静かに震わせ、伝統が今に生きていることを実感させます。

こうして受け継がれる舞は、次の世代が地域の伝統を守り、未来の佐用をつくっていく力にもなっています。今年もまた、新たな舞姫たちが祈りを紡ぎました。



佐用町長 江見秀樹



あけましておめでとうございます。令和8年の新春を迎え、みなさまに謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は大きな災害もなく、町全体が穏やかに過ごせた一年でした。日々の暮らしを支えてくださいました。佐用町は昨年、合併20周年を迎え、町内では多くの行事が行われました。会場で多くの方と触れ合う中で、思いやりや助け合いの心、そして世代を超えて受け継がれてきた絆こそが、この町の何よりの宝だと実感しました。

社会が大きく変化する中でも、佐用町での暮らしがここにあり続けます。人口の変化にとらわれすぎることなく、誰もが安心して暮らせる地域を守り育っていくことが大切です。「充実した暮らし」を実感できる環境づくりを進めるとともに、佐用町ならではの魅力を磨き上げ、「小さくてもきらりと光る町」の実現を図ります。

まちづくりは行政だけでは成し遂げられません。町民のみなさまと力を合わせ、佐用町の未来をともに築いてまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

町民と共に歩む町議会へ

佐用町議会議長 千種和英



議会を身近に感じていただくには、議員活動をご理解いただき、納得していただくことが第一歩です。みなさまと共に歩む議会こそ、私たちのめざす議会の姿です。どうぞ私たちに声を届けてください。みなさまの思いを形にし、「声が届き、力になる町」を実現しますよう。

本年がみなさまにとつて幸多く、飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素は議会活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、私たち町議会議員は「町民の福祉の向上」をめざし、議会において活発な議論のもと、ときに町の施策に意見し、また事業の促進を求めるなど、地域の実態に即した行政運営を町役場に求めています。

より多くの町民のみなさまに議会へ関心を持っていただきため、今年度から「議会のあり方勉強会」を立ち上げ、月1回の頻度で開催しています。いただいた要望や意見を政策提言にどうつなげるか、議員定数や委員会構成は適正かなど、多面的に検討を続けています。



撮影協力：元地域おこし協力隊 小仁伸浩



総代

藤岡 照一さん
=秀谷=

お祭り以外でも掃除を行い、12集落で守ってきた佐用姫さん。

この場所は、地域の人が集い、語らい、心を通わせる大切な場でもあります。これからも、みんなで支え・守りながら、地域のつながりを育んでいきたいと思います。



宮司

見村 吉久さん
=本位田甲=

佐用姫祭りは、江戸末期から地域の無病息災や五穀豊穫を願って行われてきました。

祖父が宮司を務めていた頃、地域の人が集い楽しむ祭りとして、今の形になりました。これからも、地域のみなさんと守り続けていきたい伝統です。



先輩

羽山 芳子さん
=山平=

私が踊っていたのは約60年前。子どもながら、巫女の衣装に袖を通すと、身が引き締まった記憶があります。

当時の仲間とは、今でも「ちゃん」づけで呼び合うほど仲良くなれました。いつ見ても感慨深い「浦安の舞」、いつまでも続いてほしいです。

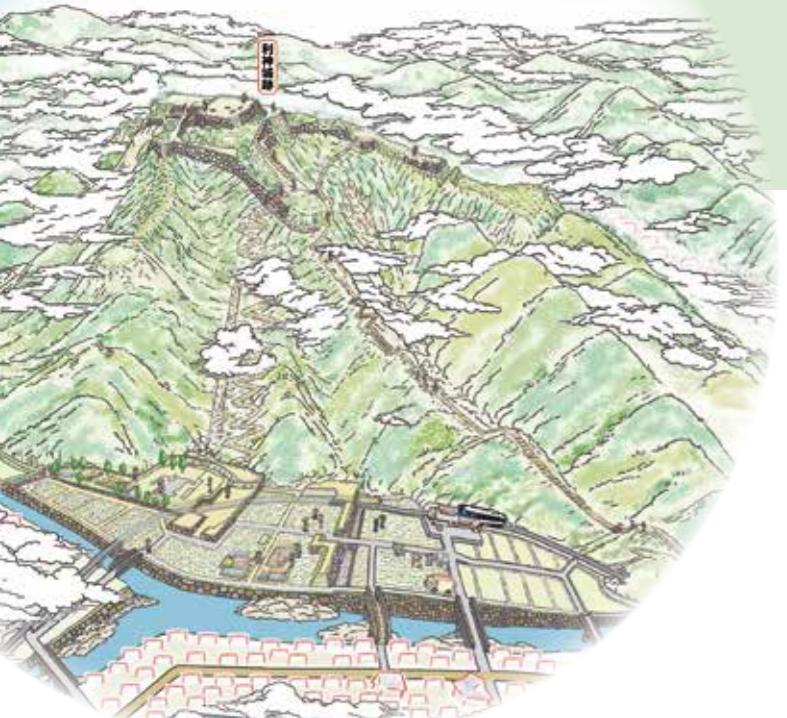


舞姫

石田 七夢さん
=本位田甲=

小学校2年生から続けてきた浦安の舞も、今年で8年目。私にとっては、集大成の年でした。

先輩に教えてもらいながら、いつの間にか覚えた踊り。みんなで集まって練習した時間は、とても楽しくて、大切な思い出になりました。



Close Up クローズアップ

Monthly Pick up
今月の注目

3

整備基本計画策定記念「利神城シンポジウム」

利神城跡が国の史跡に指定されてから8年。このたび、今後の具体的な整備プランを示す「整備基本計画」を策定しました。11月30日には、その内容を紹介する「利神城シンポジウム」を、さよう文化情報センターで開催しました。

未来へつなぐため 保存と活用の道筋

平成29年に国史跡に指定された利神城跡。町は、令和元年度に「保存活用計画」を策定して以降、調査研究を重ねながら、どのように利神城を守り、次代へ引き継いでいくかを検討していました。

石垣の崩落が進んでいる箇所もあり、早急な対策が求められていることから、保存と活用の両面において取り組みを進めていく必要があります。

こうした中、このたび利神城跡の魅力を引き出しながら、安

全に見学できる環境を整えるための具体的な整備方針や工程を示した「整備基本計画」がまとめました。

3月末までは町ホームページで計画を公開し、町民のみなさんへも広く情報を伝えていく予定です。

歴史を守り、 歴史の宝にするために

11月30日には、その内容を紹介する「利神城シンポジウム」をさよう文化情報センターで開催。会場には約100人が訪れ、利神城の歴史やこれからの

展望への理解を深めました。シンポジウムでは、整備基本計画策定委員長を務める、県立歴史博物館の藪田貫名館長が登壇。これまでの調査で分かった利神城の特性や、保存と活用を調和させる整備の方向性を説明しました。

藪田委員長は「利神城跡を保

存するだけでなく、歴史ある平福の町並みとともに、地域資源として新たな価値を見出していく」と来場者や佐用町民に呼びかけました。

利神城の魅力を、未来へつなぐための新たな一步が始まりました。



学識経験者が意見を交わしました



登壇した藪田策定委員長



豪華景品が当たるbingo大会で会場は盛り上りました

因幡街道や千種川沿いを駆け
る「いなちくロングライド」。
今年は、東は関東、西は九州ま
で、全国各地から計531人
のエンブリーがありました。
おもてなしの準備を万全に整
えていましたが、大会当日の11
月9日はあいにくの雨。参加者
の安全を第一に考え、大会は中
止となり、代替イベントを開催
しました。

会場では、ゲストライダーと
して参加予定だった現役競輪選
手によるペダリング講座や、サ
イクリングインストラクター・
平野由香里さんのトークショウ
など、自転車にまつわる企画を
しました。

実施。さらに、休憩ポイントで
提供予定だったホルモン焼きう
どんや豚汁、和菓子などを無料
でふるまい、参加者は走れな
かった分の悔しさを“お腹いつ
ぱいの笑顔”ではらしました。
神戸市から初参加した松石秀
美さんは「来年、リベンジでま
た参加したいです」と笑顔。予
想を上回る300人超の来場
者に、実行委員長の川田嘉男さ
ん（中町）は「たくさん来てい
ただけてうれしい。雨でも愛さ
れる『いなちく』を見て、来年
はこの参加者たちに恩返しをし
たい」と、決意を新たにしてい
ました。

Close Up クローズアップ

Monthly Pick up
今月の注目

2

雨のいなちく、「あめちく」に

11月9日に企画されていた「因幡街道・千種川ロングライド」には、531人
のエンブリーがありましたが、雨天のため代替イベントになりました。それでも
多くの人が駆けつけ、束の間の「いなちく」ならぬ「あめちく」を楽しみました。



競輪選手によるペダリング講座



参加者からは「おなか一杯」の声



好評だった自転車用品の展示・販売

みんなで考える人権のこと

誰もが自分らしく暮らせる町をめざして、「人権まちづくりフェスタさよう」を12月7日、さよう文化情報センターで開催しました。参加した155人は、身近な出来事から人権を考え合う一日となりました。

■人権作文の部 入賞者発表



◀全文はこちら



「昔の沖縄」

廣瀬 翔伍さん（上津中3年）

「ダメだよと言える勇気」

竹田 悠那さん（佐用小6年）

12月7日、子どもたちの色鮮やかな人権ポスター、福祉施設の作品が並ぶさよう文化情報センターで「人権まちづくりフェスタさよう」を開催しました。会場では、子どもたちが日ごろ感じる「人権」をテーマに制作した人権作文や人権ポスターの表彰が行われました。また、三日月小学校PTA会長の眞岡直美さん（志文）がPTCA活動を発表し、地域での実践が紹介されました。式典後には、歌手の木山裕策さんが、自らのがん闘病を乗り越えた経験とともに名曲「home」を披露。来場者は人権を身近に感じ、前向きな気持ちを共有しました。



木山さんの歌声に勇気づけられました

■人権ポスターの部 入賞作品

山根 聰馬さん
(南光小6年)尾上 依蓮さん
(上月中3年)中井 希優さん
(上月中3年)

町長から表彰状を受け取る園児

武田 いぶきさん
(佐用小6年)三日月保育園
5歳児

佐用町の未来を考えるアンケート

あなたの 声 が、

佐用町をつくります

町がこれからめざす姿を示した「総合計画」。次の総合計画では、今まで以上にみんなで考え、話し合ってつくる「みんなのための総合計画」をめざしています。

まずは「アンケートに回答する」ことからまちづくりに参加し、これから佐用町の未来を一緒に考えましょう。

●対象

町民はもちろん、出身者や町外に住む学生、佐用町を応援してくれるすべてのみなさんが対象です

●回答方法

①ネット回答

②用紙で回答

用紙は、企画防災課、各支所（出張所）で受け取るか、町ホームページからダウンロードしてください。

●回答期限

令和8年2月9日（月）まで

●ネット回答フォーム

①町内在住、出身者



②町内の小中学生向け



③町外在住



◀詳しくは、町ホームページを
ご確認ください。

企画防災課 82-0664

◀詳しくは、町ホームページを
ご確認ください。



11/30 ふるさとの輪が響き合う
第33回清流の郷音楽祭



この日初めて発表した合唱団「コール・サンティエ」

文化協会音楽部会は、町内で音楽活動を行う団体の発表の場と交流の機会にしようと、「清流の郷音楽祭」をスピカホールで開催しました。

コーラスや邦楽、吹奏楽など9団体110人が日ごろの練習の成果を披露。演奏会の最後には、来場者も一緒に「大切なふるさと」を合唱し、音楽がつなぐふるさとの輪が広がりました。

12/7 吹奏楽の響きに包まれて
手をつなぐ育成会 お楽しみ会



一足早くクリスマス気分を味わいました

障がい者家族の会の手をつなぐ育成会は、南光文化センターで「お楽しみ会」を開催し、佐用ウインドアンサンブルの演奏を楽しみました。

披露されたのは、クリスマスソングメドレーなど聞きなじみのある曲ばかり。参加した西平奈知さん（廣山）は「私も少しドラムをやってみたくなった」とほほ笑みました。

11/30 地域とともに笑顔の時間
サンホームみかづきふれあい祭り



参加者は上月太鼓を体験し、太鼓の響きを楽しみました

サンホームみかづきは、コロナ禍以降5年ぶりとなる「ふれあい祭り」を、けんこうの里三日月で開催しました。

会場では、デイサービス利用者が作った神輿の練り歩きや、手作りバザーなどが行われ、利用者だけでなく近隣住民なども多く集まり、心温まる交流の場となりました。

12/6 まちを支える職人の力
町内の職さんが遊具などを修繕



プロの仕事で、南光保育園の竹馬置きが蘇りました

土建一般労働組合佐用部会は、南光保育園と三日月保育園の遊具などを無償で修繕しました。

同組合では、職人の技術を生かし、毎年公共施設の遊具などを無償で修繕しています。部会長の井原竜也さん（中ノ原）は「町内にも職人がいることを子どもたちに知ってもらえたうれしい」と笑顔で塗装のハケを走らせました。

11/24 つながり広がる長谷の秋
長谷ふれあい感謝祭



「もっと強く！」子どもたちの応援の声が響きました

長谷地域づくり協議会は、住民が集い楽しめる催しとして「長谷ふれあい感謝祭」を長谷地域交流センターで開催しました。

会場には子どもの元気な声が響き、キッチンカーの出店などで終始にぎやか。鳥元利明さん（口長谷）は「このお祭りが、地域のつながりを深めるきっかけになれば」と期待を込めました。

11/26 慣れない手つきで真剣に
男性の料理教室



協力しながら、丁寧に下ごしらえを進めました

普段なかなかキッチンに立つことがない男性が料理に挑戦する「男性の料理教室」を町保健センターで開催しました。

参加者は慣れない手つきで悪戦苦闘しながらも真剣に調理。完成した料理を試食した矢野光雄さん（櫛田）は「味は100点満点！」と笑顔で話し、仲間たちと楽しく食卓を囲みました。

11/20 世界の化学者からエール
ノーベル化学賞北川進さんが受賞記念講演



近隣市町から155人の小中学生が招待されました

今年のノーベル化学賞に選ばれた京都大学特別教授・北川進さんが、研究に利用していた「スプリング8」を訪れ、受賞記念講演を行いました。

北川さんの「失敗の積み重ねが成功につながった」という言葉に、藤本蓮さん（上月中2年）は「自分も失敗を恐れず、新しいことに挑戦したい」と目を輝かせていました。

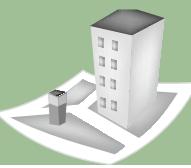
11/24 プロの指導でぐんと成長
ヴィクトリーナ姫路 スポーツ教室



手本を示してもらい、一つひとつの動作を教わりました

姫路を本拠地に活躍するプロバレーボールチーム「ヴィクトリーナ姫路」のスポーツ教室が、上月体育館で行われました。

参加した田中愛羅さん（南光JVC）は「初めてプロの選手から教えてもらった。覚えたことを次の練習で早く試したい」と貴重な体験に手応えを感じていました。



自宅でできる書かない確定申告
はじめませんか？いつでもどこでも e-Tax
monthly information



現 在、約 70% の申告者が利用している e-Tax (国税電子申告・納税システム)。自宅からパソコンやスマートフォンで 24 時間いつでも提出でき、税務署に行く手間も省けます。この機会に、手軽でスムーズな確定申告に挑戦してみませんか？

■ e-Tax の良いところ

24 時間利用可能

パソコンやスマートフォンからいつでも・どこでも申告できます。

自動入力可能

マイナポータル連携で、一部のデータが自動入力されます。

早く還付を受けられる

紙の申告よりも早く還付されます。

■ スマホ申告相談会を開催します

スマートフォンから e-TAX 申告ができるよう「スマートフォン申告相談コーナー」を設置します。

今後、ご自身で申告できるよう職員が使い方をサポートします。

・日時

2月 5 日㊈、6 日㊉
午前 9 時～午後 4 時

・場所

役場本庁西館 1 階 町民広場

● 持ち物

- ・自身のスマートフォン
- ・マイナンバーカード
(2種類の暗証番号が必要です)
- ・扶養にとる人の個人番号がわかるもの
- ・給与、年金など収入のわかるもの
(扶養にとる人の分も含む)
- ・保険料などの控除証明書、医療費控除の明細書、収支内訳書など

● 申込み

参加は事前予約制です。前日までに、税務課の窓口か電話で予約してください。
※初めて参加する人を優先します。
※パソコンでの申告には対応していません。



問 税務課 ☎ 82-0662

無料 1月のスマートフォン相談会

携帯電話やスマートフォンでお困りのことはありませんか？契約している会社やメーカーに関係なく、使い方やトラブルなどの相談ができます。



問 情報政策課 ☎ 82-0690

・日時 1月 19 日㊈、20 日㊉

- ・午前 10 時～午後 0 時 30 分
- ・午後 1 時 30 分～5 時

・場所 南光支所

・予約 ドコモショップたつの店
☎ 0120-079-164



縮充フォーラム 2026～縮充でひらく、これからの佐用町～

あなたが「これから大切にしたいこと」は？



monthly information

人 口減少や高齢化が進む今、佐用町のまちづくりは新たな局面を迎えています。これからのまちづくりに大切なのは、みんなが参加すること。「縮充」という言葉を提唱したコミュニティデザイナー・山崎亮さんとともに、町の未来を考えましょう。

● 日時

令和 8 年 2 月 8 日㊈
午後 1 時 30 分～3 時 30 分

● 場所

上月地域交流センター

● 内容

山崎亮さんとのトークセッションや、参加者みんなで町の未来を考える意見交換



● 対象

どなたでも大歓迎

POINT! こんな人におすすめ

- ・自分たちの町の未来を一緒に考えたい
- ・次世代に、より良い佐用町を残したい
- ・そもそも「縮充」って何？
- ・小中学生や大学生もぜひ

CHECK! お子様連れも安心

キッズスペースを用意しています。休憩や気分転換にもどうぞ。

問 企画防災課 ☎ 82-0664



田んぼダムの取り組み地区を新たに募集します

「田んぼの力」で地域の洪水を防ぐ

monthly information

田 んぼの排水溝に切り欠きのある「せき板」を設置し、雨水を一時的に田んぼに貯留することによって、地域の洪水を防止・軽減する「田んぼダム」。来年度から新たに取り組む地区を募集し、「せき板」を無償で配布します。

● 対象

西播磨地域の農業者や集落営農などの組織

● 申込み

令和 8 年 1 月 30 日㊉までに、農林振興課、光都土地改良センターへお問合せください。



問 農林振興課 ☎ 82-0667

光都土地改良センター

☎ 0791-58-2215



「誰かの暮らしを支える」。そんな毎日が、ここにある。
令和8年度 佐用町役場 職員2次募集
 monthly information



●募集職種と採用予定人数

- 一般行政職 技術職（社会人経験者） 1人
- 保健師 1人
- 保育士 1人
- 学芸員 1人
- 技能労務職 環境整備員 1人

※職務経験や資格などが必要な場合があります。
 詳しくは、町ホームページをご確認ください。

●採用予定日 4月1日㊁

●申込期限 1月13日㊁まで

■1次試験日程・内容

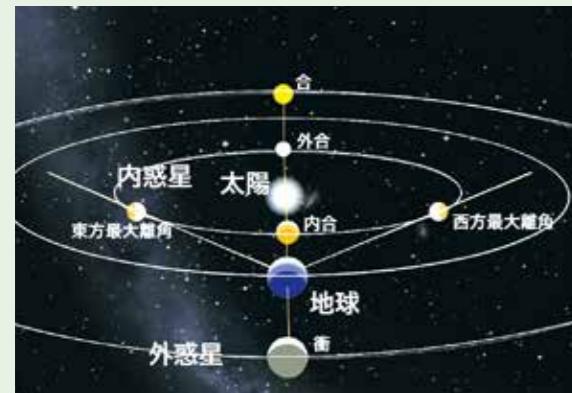
- 日時 1月18日㊁ 午前9時～
- 内容 事務能力検査、適性検査及び面接

問総務課 ☎ 82-2549

西はりま
天文台だより

第56回

天文用語の「衝」と「合」



西はりま天文台のカレンダーをご覧になったことはありますか？天文現象がところどころに記されています。そのなかに「衝」という用語があります。

「衝」は、地球から見て惑星が太陽の反対方向に位置する瞬間を指し、太陽・地球・惑星が一直線に並ぶ状態です。「衝」の時期には惑星が地球に近づき、ほぼ一晩中見えるので観望に最適です。

その反対が太陽の方に見える「合」。この期間は、観測できないため、カレンダーには記していません。日にちの下の小さな解説にも注目して、ぜひ空を見上げてみてください。カレンダーは天文台で配布しています。

兵庫県立大学 西はりま天文台
 天文科学専門員 竹内裕美



気軽に相談してください

新しい民生委員・児童委員が決まりました

monthly information



地域の身近な相談相手として活動する「民生委員・児童委員」と、主に子どもに関する支援を行う「主任児童委員」が新たに決まりました。委員には守秘義務がありますので、お困りごとがあればお気軽にご相談ください。

■新しい民生委員・児童委員・主任児童委員（敬称略）【任期：令和10年11月30日まで】

名前	担当地区
笛谷 孝子	上町、大願寺
和田 進	中町、川原町、山王
吉井 秀美	新町、栄町
岡本 桂子	駅前、秀谷、山平、大坪、吉福
淺海 優子	山脇、真盛、柴谷
井上 房美	山田、西山
山崎 公恵	上長尾、下長尾、五反田
諏訪 嘉毅	本位田甲、本位田乙、円応寺
高松 成実	口長谷、奥長谷
矢内 由美子	宗行、横坂
岩造 しげみ	口金近、奥金近
眞島 順	庵
西本 一哉	延吉
永井 初美	北新町、平福上町、平福中町、下町、南新町
平井 正敏	水根、青木、上石井
久保 勝子	若州、奥海
柴田 ひとみ	海内、桑野
岡本 伴子	峠、中土居、大船、中ノ原
有本 邦子	豊福、平谷、淀
岡田 孝子	仁方、福澤
森元 加保里	西河内、甲大木谷、乙大木谷
茅原 恵子	末包、東中山、大畠
絹畠 義高	福吉、南中山、来見
山本 肇	本郷、大垣内、皆田
吉田 美香	才金、金子
田中 保子	田和、桜山
竹内 一弘	金屋
中井 幹夫	力万、須安、宇根
山下 久子	樫ヶ渕、越田和、判官、稗田、久木原、小日山
湯浅 幸子	上上月（上）
武内 義信	上上月（下）
山田 妙子	中上月
坂本 浩子	下上月、仁位、寄延、日高
山上 明美	早瀬1、早瀬2

名前	担当地区
小寺 文道	家内、久崎
高畠 将敏	櫛田
芳原 すが	円光寺
袋路 義弘	下秋里、上秋里
三枝 正雄	西新宿
鎌田 裕二	大日山
竹田 好作	小赤松、大酒
細尾 智恵	多賀
巴 一哉	中島、米田
服部 澄子	安川
大森 ゆかほ	小山
衣畠 真一	土井、宝蔵寺
筏 康記	下徳久上、林崎
小林 通昭	下徳久下、下徳久上
鎌田 英	東徳久
森田 善章	西徳久
紙上 かおり	平松
堂本 豊子	漆野
杉山 真澄	西下野、下三河
赤松 利男	中三河、上三河
福岡 和子	河崎
大江 秀謙	船越
北原 昌子	三日月
塚崎 由加里	茶屋
木戸口 智子	湯小
仲村 正弘	東本郷
植本 容子	真宗、志文、春哉
幡中 佳子	乃井野、西市、徳平
寺本 幸子	田此
服部 妙子	新宿、廣山、弦谷
藤田 愛子	島脇、久保
長峰 昭藏	南広
梶本 とき子	佐用地域主任児童委員
漆原 沙織	上月地域主任児童委員
近藤 泰美	南光地域主任児童委員
中山 さおり	三日月地域主任児童委員

問健康福祉課 ☎ 82-0661



健康カレンダー

もの忘れ・心のケア相談など

場所: 町保健センター

月日	内 容	時間
1/22	デイ・ケア (精神障がい者社会復帰訓練事業)	13:30~15:30
2/5	こころのケア相談 (要予約)	13:00~
1/15	アルコール相談 (要予約)	13:30~

健康福祉課 ☎ 82-0661

場所: 龍野健康福祉事務所

月日	内 容	時間
2/6	こころのケア相談 (要予約)	13:00~15:00
1/27	エイズ・肝炎相談 (要予約) HIV・肝炎ウイルス検査 (要予約)	13:15~14:30
1/19 2/9	専門的栄養相談 (要予約)	10:00~11:30

龍野健康福祉事務所 ☎ 0791-63-5687

場所: 役場西館 1階 研修室

月日	内 容	時間
1/21	もの忘れ相談 (要予約)	13:30~
月日	内 容	時間

場所: 町保健センター

月日	内 容	時間
1/28	認知症家族の会 (ひまわり)	13:30~

地域包括支援センター ☎ 82-2079

column

地域包括支援センターだより

離れて暮らす家族と ずっと安心に

☎ 82-2079

④地域の人とのつながり
③地域で助け合う
②こまめな「ミニニーケーション
①頼れる人をもつ

近年、遠方に暮らす子どもなどに支えられるながら生活を続ける「遠距離」のかたちが増えています。無理なく、安心して暮らし続けるためのポイントをまとめました。

毎日同じ時間に電話するなど、日々から家族とつながりを持ちましょう。小さな変化にも気づいてもらいやすくなります。

う、あらかじめ役割を決めておきましょう。親戚や友人、近所の人など、近くにいる人を頼ることも大切です。地域ぐるみで見守ってもらえる環境が安心につながります。

よう。無理をしないかたちづくりが、安心した暮らしの継続につながります。



近年、遠方に暮らす子どもなどに支えられるながら生活を続ける「遠距離」のかたちが増えています。無理なく、安心して暮らし続けるためのポイントをまとめました。

毎日同じ時間に電話するなど、日々から家族とつながりを持ちましょう。小さな変化にも気づいてもらいやすくなります。

う、あらかじめ役割を決めておきましょう。親戚や友人、近所の人など、近くにいる人を頼ることも大切です。地域ぐるみで見守ってもらえる環境が安心につながります。

よう。無理をしないかたちづくりが、安心した暮らしの継続につながります。

場所: 町保健センター

月日	内 容	時間
1/22	がんサロン・さよう (予約不要) がんピアサポート (要予約)	14:00~16:00
	問はまなすの会 ☎ 079-277-2764 健康福祉課 ☎ 82-0661	



バランスのよい食事でカラダの防衛力アップ

免疫力を高めて年末年始を健康に

「風」

邪は万病のもと」といわれるよう、免疫力が落ちると風邪をひきやすくなり、さまざまな病気につながることがあります。年末年始は生活が不規則になります。規則正しい生活リズムを心がけるとともに、食生活にも気をつけましょう。

免疫力を高める食生活のポイント

- ☑ 穀物や動物性たんぱく質、しょうがなど、体を温める食材を意識して摂りましょう
- ☑ 皮膚や粘膜を守るビタミンA・E・C、亜鉛をしっかり
- ☑ 発酵食品や食物纖維で腸内環境を整えましょう



管理栄養士の

おすすめ献立

牛肉とごぼうたっぷり混ぜご飯

●材 料

米	2合
牛バラ肉	100g
ごぼう	30g
にんじん	30g
油揚げ	1枚
こんにゃく	30g
ねぎ	少々
しょうゆ	大さじ2
砂糖	大さじ1.5
酒	大さじ2



鶏肉の蒸し焼きしょうがだれ

●材 料

鶏むね肉	1枚
甘酒	150cc
塩	小さじ1
酒	大さじ1
しょうが	20g
しょうゆ	大さじ1
砂糖	小さじ1
ごま油	小さじ1
酢	大さじ2



●作り方

- ①ご飯を炊いておく。
- ②牛バラ肉、ごぼうのささがき、短冊切りの人参と油揚げを鍋に入れて調味料を加えて煮ます。
- ③炊き上がったご飯に具を煮汁ごとのせて蒸らし、ねぎを混ぜる。

●作り方

- ①甘酒と塩・酒を混ぜあわせ、鶏むね肉を30分程漬けておく。
- ②フライパンに鶏むね肉を漬け汁ごと入れ蓋をして蒸し焼きにする。
- ③火が通ったら、取り出してスライスし、混ぜ合わせたしょうがだれをかける。

健康福祉課 ☎ 82-0661

生涯
学習豊かな人生は「学び」から
高年大学の学生を募集します

高年大学は、ふれあいの中で、新たな教養を身に付け、生き生きとした日々を過ごすための生涯学習講座です。



●対象 学習意欲のある概ね60歳以上

●学費 年間1,000円

※専門講座やクラブ活動は、別途実費が必要な場合があります。

●申込み 生涯学習課、各支所にある申込書を提出してください。申込書は1月15日㊁の一般教養講座でも配布します。

●申込締切 2月19日㊁

	佐用会場	上月会場	南光会場	三日月会場
一般講座 さよう文化情報センター 毎月第3木曜日 午前10時～正午				
専門講座	手しごと（手芸）、歴史、盆栽、書道、うたごえ	園芸、陶芸、パソコン	南光演歌教室、料理	パソコン
クラブ活動	ゲートボール、囲碁	—	—	グラウンドゴルフ、陶芸
開設場所	さよう文化情報センターほか	上月地域交流センターほか	南光文化センターほか	三日月地域交流センターほか

専門講座、クラブ活動は複数選択可能です。専門講座の内容は変更する場合があります。

講演後に
書籍販売
&
サイン会

■申込み

①ウェブ



②図書館窓口

窓口に備え付けの用紙で
お申込みください。

問図書館 ☎ 82-0874

プロフィール

1951年神奈川県生まれ。「陰陽師」「キマイラ」「餓狼伝」などで人気を博し、多くが舞台や映画、漫画化。2018年に紫綬褒章、他主要文学賞を受賞。



作家
夢枕獏 講演会

安倍晴明

3.7 土 開場/13:00
開演/13:30

さよう文化情報センター

入場無料



学びの泉

生涯学習、人権、ホールイベント、
スポーツなどの情報をお届けします

生涯学習課

☎ 82-3336

芸術

第44回佐用郡美術展

佐用の芸術、光る瞬間

郡美術協会は、美術文化の発展と向上を目的に、「第44回佐用郡美術展」を11月13日から16日まで、さよう文化情報センターで開催しました。

日本画、洋画、写真、書道、工芸の各部門には、合計164点の応募作品が寄せられ、会場には美術愛好家たちの力作が並びました。

町内の受賞者（敬称略）

●町長賞

書 植田倍次（下徳久上）
工芸 遠藤 功（桜山）

●議会議長賞

洋画 平野あさみ（早瀬1）
書 坂本則子（仁位）
工芸 大崎章子（小山）

●教育長賞

洋画 鍋島邦枝（久崎）
工芸 松本洋子（新町）



●郡美術協会賞

洋画 佐々木智美（才金）
工芸 山下義幸（仁位）

●上郡佐用ロータリークラブ賞

日本画 孝本鈴子（上長尾）
洋画 森脇恵子（米田）
書 寺田茂雄（平福中町）
工芸 長谷川美好（中町）

●奨励賞

日本画 濱名のぶゑ（多賀）
日本画 木南弥生（宝蔵寺）
洋画 飛岡佐恵子（土井）
書 植田和尊（久崎）
書 巴 宏美（多賀）
書 藤本里美（金屋）
写真 山上淑美（早瀬1）
工芸 野村智里（栄町）

人権

職場や地域の行事などで活用してください

人権啓発DVDを貸し出しています

生涯学習課では、互いを思いやる家庭生活や地域づくりのために、時事的な課題を取り上げる「人権啓発DVD」を多数備え付けています。貸し出しは無料です。プロジェクターやスクリーンも貸し出しきれますので、ぜひ職場や自治会などの人権学習にご活用ください。



令和7年度
県人権啓発協会制作作品

「見上げれば」

出演
日野友輔 ほか
上映時間
34分



ひきこもりの若者が、信頼できる他者とのつながりや寄り添う「居場所」と早期支援につながることの大切さを伝える作品。



受賞おめでとうございます



長年にわたり、社会、公共に
力を尽くしたかたを紹介します。

瑞宝双光章（消防功労）

眞島 順さん（庵）



西はりま消防組合の消防監
として地域の安全と安心を
守られました。

法務大臣表彰（保護司）

国広 美子さん（横坂）



保護司として地域を支える
活動に尽力されました。

全国公共図書館協議会表彰

岸井 春乘さん（西山）



図書館協議会委員として図
書館の充実、発展に尽力さ
れました。

防犯栄誉銀章
(全国防犯協会連合会)

久保 正彦さん（豊福）



地域防犯活動の推進により、
安全で安心なまちづくりに
尽力されました。

少年補導功労者（栄誉銅章）
(全国少年警察ボランティア協会)

梶本 とき子さん（庵）



少年の健全育成に寄与し、
地域の非行防止活動に尽力
されました。

県知事賞

新田 繁樹さん（新宿）



長年にわたり自治会長を努
め、自治会の発展に尽力さ
れました。

瑞宝単光章（消防）

森本 孝吉さん（本位田甲）



消防活動を通じて地域の安
全と安心を守られました。

全国保護司連盟理事長表彰

西尾 栄次さん（多賀）



保護司として地域を支える
活動に尽力されました。

全国公共図書館協議会表彰

仲村 真巨さん（下本郷）



図書館協議会委員として図
書館の充実、発展に尽力さ
れました。

防犯栄誉銅章
(全国防犯協会連合会)

矢内 正敏さん（横坂）



地域防犯活動の推進により、
安全で安心なまちづくりに
尽力されました。

少年補導功労団体表彰
(近畿少年補導員等連絡協議会)

佐用少年補導員連絡協議会 佐用支部

少年補導活動を推進し、地域の健全育成に貢献
されました。



図書館



今月の新着図書から司書がおすすめする3冊を紹介します
新着本情報

『鳥たちが彩る日本史』

- ▶著書 大橋弘一
- ▶出版 山と渓谷社

歴史上の人物と鳥との関係を紹介し
ながら、野鳥の魅力を伝える。

『小泉八雲
「見えない日本」を見た人』

- ▶著者 畑中章宏
- ▶出版 光文社

小泉八雲の生涯と数々の著作から、
130年前の日本の民俗を見つめ直す。



『世界の食器図鑑』

- ▶著者 玄馬絵美子、米山明泉
- ▶出版 平凡社

食器の名作を写真で掲載し、比較解説。基
礎知識や歴史、楽しみ方まで学べる図鑑。

Library info

図書館からのお知らせ

TEL 082-0874

開館時間 午前10時～午後6時

月曜日・祝日休館

1月、2月の休館日

- 1月 1~5.12.19.26
- 2月 2.3.9.11.16.23

読書で交流しましょう

「冬の読書会」参加者募集



「読書会」は、対象の本を事前に読み、
感想や意見を自由に話す会です。

- 日 時 1月31日④
午前10時30分～正午

- 場 所 さよう文化情報センター

- 募集人数 10人

- 参加費 無料

- 対象図書

『グレート・ギャツビー』

著 / スコット・フィッツジェラルド

訳 / 村上春樹

出版 / 中央公論新社

- 申込締切 1月24日④

- 申込 図書館までお問合せください



おはなし会

■ボランティア「あそばせ隊」

- 対象 幼児・小学生
- 日時 毎週土曜日
午後2時～2時30分

■図書館司書

えほんの会

- 対象 2～4歳、その保護者
- 日時 毎週日曜日
午前10時30分～11時

おはなし会

- 対象 5歳～
- 日時 毎週日曜日
午前11時～11時30分

イベント
event information第2弾
ひらふく庭あそび

情緒あふれる平福の趣を感じるイベントを開催します。和装で歩けば、いつもより特別なひととき。

●日時 1月17日㊁

午後4時～7時

●場所 KUMOTSUKI 前

●内容 竹灯籠、プロジェクト提灯、ホットフードの提供などを予定しています。詳しくは、町ホームページをご確認ください。



●商工観光課 ☎82-0670

募集
invite information

認知症ケアセミナー

認知症の症状や支援方法などを学べるセミナーを開催します。

●日時 1月30日金

午後2時～4時

●場所 西播磨総合リハビリテーションセンター

研修交流センター1階

●参加料 無料

●定員 60人(先着)

●申込期限 1月23日金

電話か二次元コードからお申込みください。

●西播磨総合リハビリテーションセンター ☎0791-58-1050

お知らせ
information

郡美術協会書道部会員展

第25回 あさぎり書道展

●期間 2月7日㊁、8日㊂

午前9時～午後5時

(8日は午後4時まで)

●会場 さよう文化情報センター

ギャラリー

●郡美術協会書道部

淡路剛さん ☎77-0307

重度障がい者の訪問看護
利用料を助成します

●対象者 肢体不自由1級の身体障害者手帳と、A判定の療育手帳の両方を持つ人
※障がいの程度により、要件があります。

●助成額 訪問看護利用料の自己負担額のうち9割

※申請方法など、詳しくは健康福祉課へお問い合わせください。

●健康福祉課 ☎82-0661

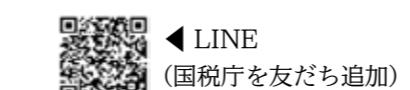
●相生税務署からのお知らせ

確定申告相談は
完全予約制です

2月13日㊁までの確定申告相談は、完全予約制です。予約なしでの相談はできませんのでお気をつけください。

●予約方法

- ①電話
- ②オンライン予約



●相生税務署

☎0791-23-0231

来年度は経済センサス
統計調査員を募集します

社会を支える統計調査。その現場で活動する調査員・指導員を募集しています。

●主な仕事

- ①担当調査区の現地確認
- ②対象世帯や事業所に調査票を配布
- ③調査票の回収、点検、整理

●報酬

調査ごとに国の基準に基づいた報酬が支払われます。1つの統計調査で、3～6万円程度です。

※調査員に登録するには条件があります。詳しくは情報政策課へお問い合わせください。

●情報政策課 ☎82-0690

マイナンバーカード受付
今月の日曜開庁日

●日時 1月11日㊁

午前9時～午後3時

●場所 住民課

●住民課 ☎82-0660

令和8・9年度
入札参加資格審査申請

町が令和8・9年度に発注する建設工事および測量・建設コンサルタント等業務の受注を希望する事業者を対象に、入札参加資格審査申請を受け付けます。

●受付期間

1月9日㊁～1月30日㊂

●有効期間

令和8・9年度の2か年

●申請方法

町ホームページにある入札

参加資格審査申請システムから申請してください。

●提出書類

「建設工事」と「測量等」によって提出書類が異なります。詳しくは、町ホームページをご確認ください。



●総務課 ☎82-2549

年末年始
公共施設の開館情報

年末年始の公共施設や道の駅などの商業施設は、施設により開館日が異なります。詳しくは町ホームページをご確認ください



●情報政策課 ☎82-0690

佐用チャンネル

お正月 特別番組 放映中

●利神城を100倍楽しむ

山城ガイドツアーに密着

●記憶のアルバムをめくって

写真から昔の佐用に思いをはせる

1/1㊁～6㊂まで



編集後記

裏面の「いちょうの落ち葉の詐欺防止啓発」。Instagramに投稿した途端、これまでにないほどのアクセスがあり、正直とても驚きました。詐欺防止啓発はもちろん、佐用の平和さも感じられる警察署の素敵な企画に脱帽です◆今年は午年。広報紙はもちろん、SNSでも佐用町の魅力を町内外へ発信できるよう、軽やかに駆け回っていきたいと思います。⑩

個人情報のため非公開

名前
保護者
行政区

お誕生おめでとう

11月11日から12月10日届出分(敬称略)

戸籍の窓口
人のうごき

12月10日現在()内は前月比

人口	14,363人	(-14)
男	6,942人	(-19)
女	7,421人	(+5)
世帯数	6,710戸	(+3)
出生	3人	死亡 28人
転入	29人	転出 18人

名前
年齢
行政区
お恥やみ申し上げます

落ち葉が描く

“STOP”のサイン

今年も見事に色づき、多くの人を秋の情緒で包み込んだ

「佐用の大イチョウ」。樹齢千年を超える大木が今も鮮やかに彩る姿は圧巻ですが、落ち葉がつくる“黄色いじゅうたん”もまた趣があります。

そこに注目したのが、隣接する佐用警察センター内の佐用防犯協会・菅原和眞さん。

落葉後も訪れる人を楽しませたい、そして特殊詐欺をなくしたい——そんな思いから“落ち葉アート”をひらめきました。「シンプルで伝わりやすい言葉に」と考えたメッセージは、「そのTELサギ

かも」。黄色い葉で敷地いっぱいに描きました。

町のインスタグラムに投稿すると、普段2万回ほどの閲覧が、1日で40万回に急増。3800件を超えるリアクションが寄せられる大反響に。菅原さんの思いは全国へと広がりました。



落ち葉アートを企画した菅原さん

全国的に増える特殊詐欺。たつの警察署管内でも、令和7年は9月末までに21件発生しています。佐用警察センターの西川正明連絡調整官は「警察官を名乗る詐欺電話も増えている。大切なのは“1人で判断しないこと”。違和感があれば家族や警察に相談してほしい」と呼びかけます。

黄色い落ち葉に込められたメッセージが、被害を未然に防ぐ力となりますように。



Instagram投稿

